



受講生17人が熱心に聴講

市は第4期「協働のまちづくりアカデミー」の開講式を5月11日、水沢地区センターで開催しました。同アカデミーは、協働のまちづくりを担う地域リーダーの育成を目的としています。

小沢昌記市長は、「時代の変化への対応は協働の力で解決を」と説き、専任講師の広田純一岩手大学農学部教授は、「人口減少時代の地域づくりを考える」と題して基調講義を行いました。受講生は、講座や実践プログラムを通じて「協働のまちづくり」の理論の習得と実践を進めます。

「協働のまちの担い手育成第4期がスタート」



協定書を手にする小沢市長(左)、安藤社長(中央)と戸館弘幸県ものづくり自動車産業振興室長

市は、(株)五和製作所(本社・愛知県豊田市、安藤尚司社長)と立地協定を結び、5月15日に市役所で調印式を行いました。

同社は、自動車部品のカチオン電着塗装を行う工場を本杉工業団地(前沢区字五合田)へ新たに建設。東北には初の進出となり、平成29年8月に建設工事へ着工、30年8月の操業開始を目指します。

「地元優秀な人材を社員として採用したい」と期待する安藤社長に、小沢昌記市長は「しっかりと支援していきたい」と謝意を述べました。

「五和製作所と市が立地協定を締結」



ストレスフリーで幸せ育児

カラダ×ココロづくり交流会



さまざまな動きを通じて体軸・体幹の感覚を知ると体が動きやすくなることを実感

「カラダ×ココロづくり交流会(地いき楽しくアイビーナ主催)」が母の日の5月14日、常盤地区センターで開催されました。昨年度開催された「奥州mama☆fes 2016」に続く子育て世代が楽しく生活できるよう応援するイベントの第2弾。参加者は、禅をベースにした瞑想法「マインドフルネス」や体本来の動きを取り戻す「アニマル進化体操」などを体験。子育てのストレスを解消する自己調整能力を学びました。

一関市で家庭的保育園を経営し、夫婦で参加した加藤知英さん(29)は「気軽に参加できるイベントなので、妻のリフレッシュになればと思い参加した。この交流会から情報ももらい、園での保護者のケアなどにも取り組んでいきたい」と話しました。



農村との交流続けて10周年

農村生活体験学習受入校から記念パネル贈呈

農村生活体験学習で衣川区などを訪れている東京都西東京市立田無第四中学校(大野雅生校長)の生徒が5月9日、おうしゅうグリーン・ツーリズム推進協議会に交流10周年を記念したパネルを贈呈しました。

記念パネルは28年度の卒業生が写真を貼るなどして手づくりしたもの。心のこもった贈り物を受け取り高橋直志衣川支部長は「来る生徒は毎年違う。一人一人を大切に、心と心を向き合わせて接してきた結果」と感慨深げに語りました。



田無第四中学校生徒代表から高橋支部長へパネルを贈呈



未来の五輪選手を目指して

胆沢カヌー体験会

2月に愛称が決定した馬留池で5月4日、カヌー体験会が行われました。初回は34人が参加し、奥州カヌー愛好会(石川善一会長)のスタッフからパドルの持ち方などを教わると、早速水上へとこぎ出しました。

初心者はパドルの扱いに悪戦苦闘しながらも、家族などで声を掛け合いながら初体験を満喫。及川裕翔君(南都田小1年)は「朝まで乗っていたいくらいとても楽しかった」と自分の体よりも長いパドルを操って水上散歩を楽しんでいました。



心地よい風が吹く中、思い思いにカヌーを楽しんだ



奥に写る「水農PTA・職員」チームとの親子対決が実現!



1位目指して苗かごリレー

全日本田植選手権大会

全日本田植選手権大会が5月24日、水沢農業高校(神山秀市校長)で行われました。技術習得や全国の農業クラブ員などとの親睦を深めることなどが目的。高校の部・一般の部合わせて24チームが参加し、11人が苗かごをバトンにして田植えの速さと正確さを競いました。

選手たちは膝下まで泥に浸かりながら、1株につき3本植え・植え付けの深さ3cmのルールを守ろうと丁寧に作業。仲間の声援を背に受け、慣れない姿勢に汗をかきながらゴールを目指しました。



地元のほか、千葉県や横浜市からも参加があり約200人で田植え



10年目は祝いの親子連獅子

アテルイの里田んぼアート

「田んぼアート」の田植え作業が5月28日、水沢区佐倉河字北田地内の水田で行われました。10回の節目となる今回は、歌舞伎役者の8代目中村芝翫さんと3人の息子さん演じる「祝勢揃壽連獅子」とアニメ「アンパンマン」のキャラクター「コキンちゃん」を描きました。

実行委員会の森岡誠会長が「中村芝翫さんから7月に見に行ってみてほしいと言われた。皆さんの協力で良いものにしたい」と開会のあいさつ。水沢区の須藤龍君(4)は「初めての田植えは楽しかった」と満喫していました。

※上記3つのイベントは市の市民提案型協働支援事業補助金を活用して開催されています